

子どもの本だな 147

このページは子どもたちにすすめたい本をとりあげています。本を選ぶときの参考にしてください。

ゆうごのあむじほん

やまわき ゆりこ さく・え

(福音館書店)

ゆうごは寝坊したので、ひとりで朝ご飯を食べることになりました。朝ご飯は、パンに牛乳、チーズ、それに顔の描いてあるゆで卵。ゆうごが卵の殻をむこうとすると、卵が「ぼくをたべないでよ。…ふたりでぼうけんにでかけよう」といいました。

卵に教えてもらった“びゆことおし”の魔法でゆうごは小さくなりました。猫のしっぽをつたって庭に下りると、サルビアの茎を杖にして木に登り、スズメを真似て枝から飛び立ちました。朝の青空を2人は遠くまで飛んでいきます。

家に帰ってきたゆうごは“びゆやおとおし”の魔法でもとのゆうごになりました。お母さんが洗濯物を干す間の出来事がやさしい色合いの絵で描かれています。読んでもらえば4歳から楽しめます。

(竹内)

図書館の本棚 474

デンさんのプール 杉本傳「水泳ニッポンを作った男

大野 裕之 著 小学館 (7852)

1995年、大阪府立茨木高等学校で長さ約30m、幅20m、深さ2mの奇妙な遺跡が見つかった。この長方形の窪みは何の跡なのか。高校の同窓会に尋ねると、卒業生たちは誇らしげに答えた。「これはデンさんのプールですわ。デンさんと生徒みんなでグラウンドを掘って作ったんです」と。

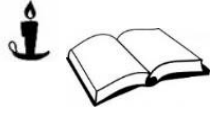
デンさんこと杉本傳(つたえ)は、旧制茨木中学校の体育教師であった。デンさんは、初代校長の加藤逢吉に後押しされ、本格的なコンクリート製プールを生徒たちと共に作り上げた。手作業でグラウンドを掘り進める生徒の中には、若き日の川端康成や大宅壮一の姿もあった。デンさんは完成したプールで、当時珍しかったクロール泳法を取り入れて指導。生徒たちは数々の日本記録を打ち立て、茨木中からオリンピック選手が育っていった。一方、デンさんは指導方法やプールの設計図を、ライバルたちに惜しみなく伝授した。日本中の生徒が等しく練習の機会を得て、世界と戦い交友することこそが彼の夢だったからだ。1924年のパリオリンピックで日本競泳代表監督を務めた際には、40日にわたるフランスへの船旅の中、甲板に即席プールを作って生徒たちに練習させた。その甲斐あって、茨木中出身の高石勝男らが五輪初入賞を果たす。デンさんは飛込や水球も本格的に紹介し、茨木から「水泳ニッポン」の揺るぎない土台を築き上げた。

現在の茨木高校に杉本傳個人を顕彰する碑はなく、水泳界においてもその名は半ば忘れ去られている。だが、それこそがデンさんの望んだことだった。自分や学校の名を売ることよりも、水泳教育の裾野が広がり、茨木の特権性が失われることが「痛快だ」と言い切ったデンさんは、真の教育者と言えるだろう。川端ら当時の生徒たちが、日記や回想の中でこぞって書き残したデンさんとプールの思い出。そこから伝わる師弟関係と青春の輝きに、胸が熱くなる。

(八木)

お知らせ

毎週土曜日に
「おはなしの時間」
を開いています。



5月の おはなし	小さい人 (4歳~小学2年生) 11:00~11:30	大きい人 (小学3年生~中学生) 11:30~12:00
2日(土)	おかあさんのたんじょう日	ネコの家に行った女の子
9日(土)	こすずめのぼうけん	ネズミのおおてがら
16日(土)	マメ子と魔物	ねむりひめ
23日(土)	赤ずきん	元気な仕立て屋
30日(土)	けしつぶクッキー	足折れつばめ

5月の開館日							6月の開館日						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	1	2	3	4	5	6	
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30				
31													

▶ ×印は休館日
 ・祝日の振替休館
 5/7、5/8
 ・館内整理日
 5/29、6/29

※閉館時は返却ポストをご利用ください。

▶ 開館時間
 10:00~18:00
 ※金曜日 10:00~20:00

5月	6月	5・6月の移動図書館 (いずれも木曜日)				
14日	11日			福地(三反長) 地域内 14:30~14:50	米田 公会堂 15:00~15:20	竹広南 公民館 15:30~15:50
21日	18日			原池団地 公民館 15:00~15:20	山田 掲示板前 15:30~15:50	原 太田東地区 農村交流 センター 16:00~16:20
28日	25日	広坂 公民館 10:30~10:50	上太田 公民館 11:00~11:20	太子 ニュータウン 公民館 14:40~15:00	吉福 公民館 15:10~15:30	塚森 地域内 15:40~16:00



地下水

この4月に異動で図書館勤務となった。3月までは隣にある歴史資料館で勤務していた。職場から見える風景は同じでも、業務内容は全く違い覚えるのに必死だ。

太子町で育った私にとってこの図書館は、馴染み深い場所である。大人になってからは足が遠のいてしまっていたが、小学生の頃は、よく母と訪れ、今日ほどの本にしようかといういろいろ手に取って見てまわった。『おでかけのまえに』という絵本が大好きで、来るたびに読んでいた。母は、昨年亡くなったが、私がこの図書館で仕事をするようになったことを喜んでいてくれるだろう。仕事の忙しさにかまけて本を読む機会が少なくなってしまうが、書棚の整理をしたり、利用者の方がカウンターに持って来られる本を見てみると、この本面白そうだなとわくわくする。たくさんの人に本を好きになってもらい、居心地のよい場所と思ってもらえて、笑顔で帰ってもらえるよう、まずは、しっかり仕事を覚えることから全力で取り組んでいきたいと思う。

(柿屋)